

下水道クイックプロジェクト技術の確立



下水道研究部 下水道研究室 研究官 深谷 渉

(キーワード) 下水道クイックプロジェクト、社会実験、流動化処理土、技術利用ガイド

1. 下水道クイックプロジェクト

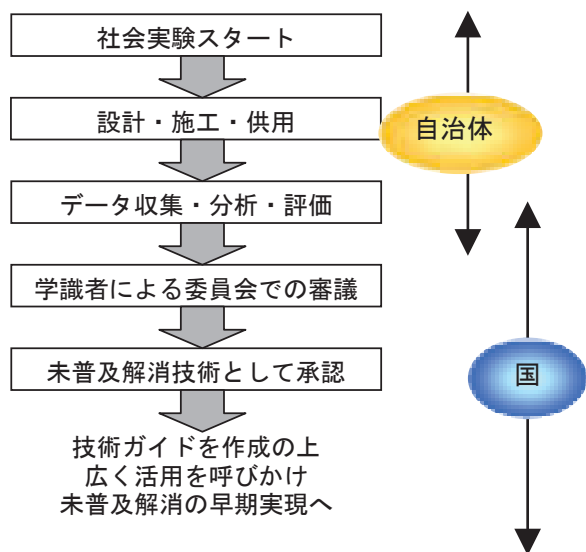
国土交通省下水道部が技術的及び財政的支援を行う「下水道クイックプロジェクト」が進行中である。本プロジェクトは、多くの自治体が、人口減少、高齢化の進展、厳しい財政事情といった問題を抱える中、普及の遅れている地域において下水道の早期整備を図るために、「早く、安く、機動的に」を合い言葉に、従来方法にこだわらない新しい技術の導入を試行的に行い、技術評価し全国的に普及させようとするものである。これまで、地方自治体から提案のあった6技術について、自治体が試行的に施工した現場を活用し機能性や施工性等の確認を行い、国が総合的な技術評価を行う社会実験を実施しており（図－1参照）、2008（平成20）年度末には、この内「流動化処理土の管きょ施工への利用」が技術評価を終え、試行的な技術から一般的な技術へと移行した。

2. 流動化処理土の管きょ施工への利用

流動化処理土は、流動性と自硬性を有する埋戻し材である。下水道管きょ等埋設物工事への適用に関しては、転圧が不要、ポンプ圧送が可能、建設発生土の有効利用が図れる等の利点を有しており、下水道整備の困難な狭隘地区への適用が期待されている（写真－1参照）。

3. 技術利用ガイドの策定

本技術の円滑な導入及び普及促進と、適切な施工による品質の確保を図るため、「下水道未普及解消技術の利用ガイド（案）」を策定し、2009年（平成21年）10月、本プロジェクトを紹介している下水道社会実験ホームページ（<http://www.mifukyu.go.jp/>）にて公表した。今後、他の技術についても順次、技術評価を行い、早期に技術利用ガイドを策定、公表したいと考えている。



図－1 一般化までのフロー・役割分担



写真－1 施工の様子